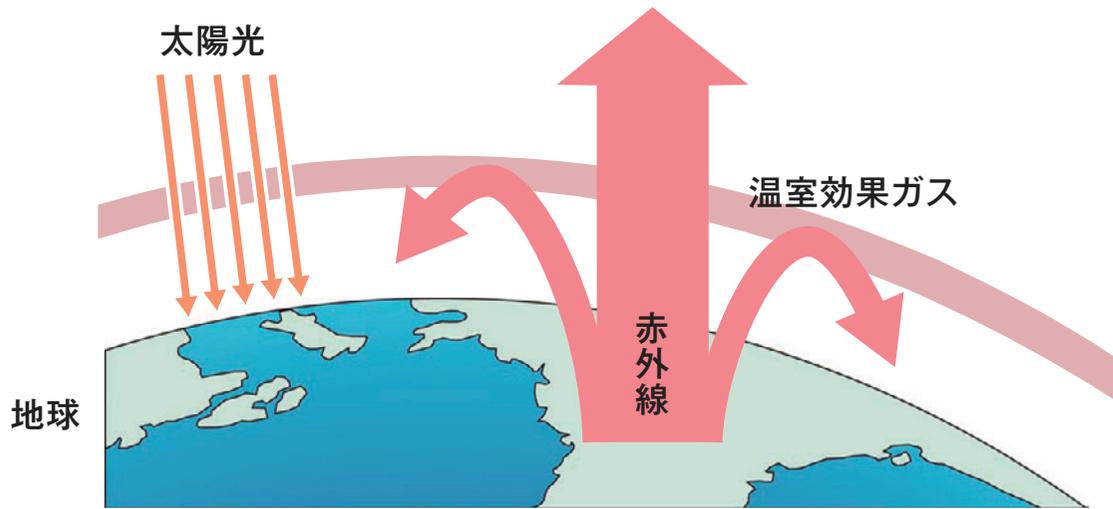
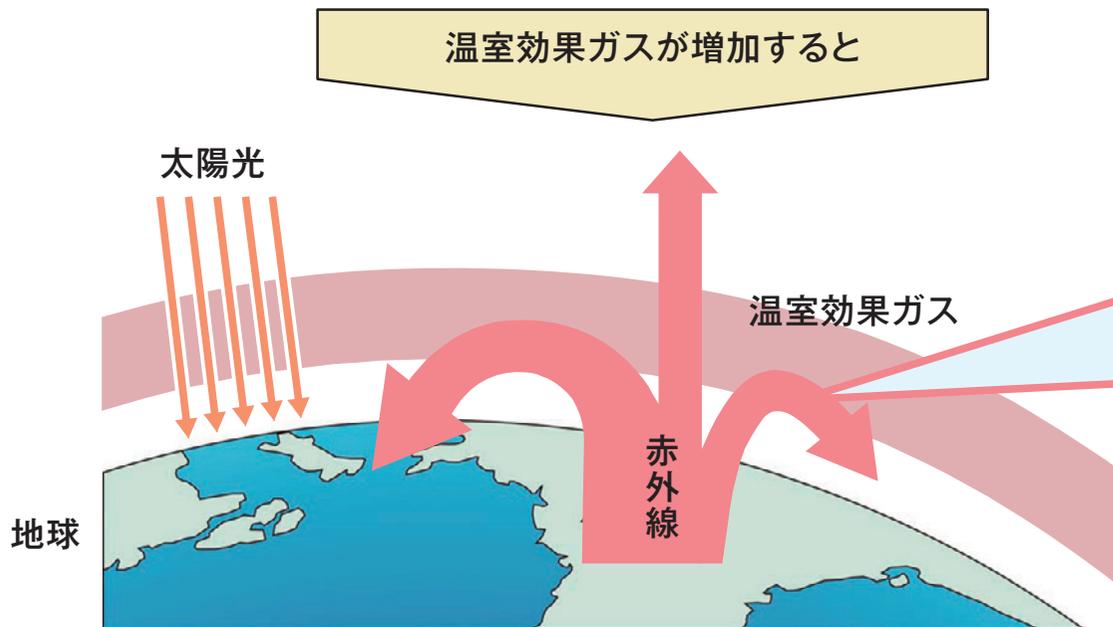


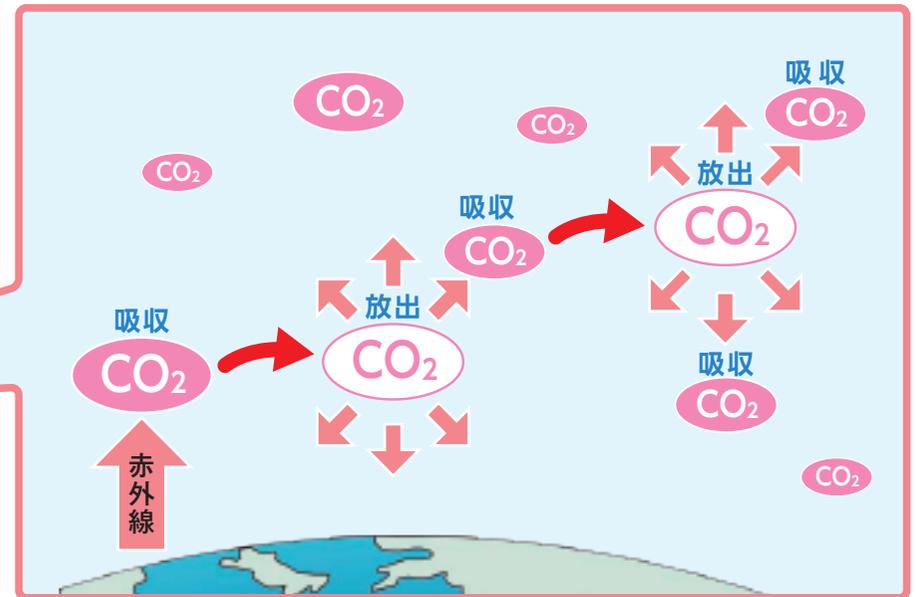
# 温室効果のしくみ



地球の大気にわずかに含まれる二酸化炭素などの温室効果ガスは、赤外線を吸収し、再び放出する性質があります。この性質により、太陽からの光で暖められた地球の表面から外に向かう赤外線は、温室効果ガスに吸収・放出される場合があり、地表に向かう一部の赤外線の熱作用により再び地球の表面を暖めます。大気中の温室効果ガスが増えると、この吸収・放出のプロセスが増え、結果として温室効果が強まり地球の表面の気温が高くなります。



例：二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) の赤外線吸収・放出の過程



二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) が増えることにより地表に向かう赤外線が増える。